



**「させぼ四季彩館」11月21日オープン!  
安全安心な地元特産品の情報や  
観光情報もどんどん発信していきます!**

させぼ四季彩館店長  
兼佐世保物産振興協会販売促進部長  
桑原裕幸(くわはら・ひろゆき)さん

させぼ四季彩館では、させぼの特産品を一堂に集め、展示販売や贈答品の発送を行っています。多くの皆さんにご来店いただき、まずはさせぼの特産品の良さを知っていただきたいと思ひます。一番の自慢は、皆さんのお好みの特産品を詰め合わせて「オリジナルギフト」を作ることができることです。そのほか三川内地区で作られた新鮮な野菜や、地元の素材にこだわったハンバーガー(週末限定の屋台販売)などもお薦めです。今後は展示販売などに加えて、安全安心な地元特産品の情報や観光情報もどんどん発信していきたいと考えています。市民、観光客、生産者、納入業者の皆さんをつなぐお手伝いができたらいいなと思っています。スタッフ一同、皆さんのご来店を心からお待ちしています。

**させぼ物産みかわち振興センター「させぼ四季彩館」**

本市特産品の知名度向上と消費拡大を目指し、展示販売・販路拡大・交流イベントの3つの機能を併せ持つ物産館として、11月21日(土)、三川内支所横にオープン。国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金950万円を活用して、旧三川内焼展示即売場を改修し整備したもので、運営は佐世保物産振興協会が行っています。



SHOP DATA  
住所 三川内本町289-1  
電話 30-7744  
時間 9時~17時30分  
休館 年末年始  
駐車 50台



**戦略産品に取り組む皆さん! 今後の販売戦略は?**

**九十九島かき**

佐世保市相浦漁業協同組合  
専務理事 田淵次郎さん



**イベントの継続と新商品の開発に取り組みます**

市内外の皆さんに定着した九十九島かきのPRイベント「九十九島かき食うカキ祭り」を継続し、今後も県内外へ九十九島かきのおいしさなどの情報を発信し、知名度の向上を目指します。また、市内の企業と連携してカキを加工した新商品の開発にも力を入れていきます。



九十九島かき  
九十九島海域のカキ養殖は、昭和40年ごろから始まりました。自然豊かなこの海域はカキの餌となるプランクトンが豊富な上、周辺に大きな川がなく、海水の塩分濃度が高く保たれることから、小粒ですが旨みの濃いカキが育ちます。昨年、「九十九島かき」の地域団体商標登録が認められ、させぼブランドの一つとして期待されています。

**世知原茶**

世知原茶振興会  
会長 陣野一郎さん



**市内での取り扱い店舗の拡大を目指します**

市内の小売店や旅館・ホテルなど取り扱い店舗の拡大を目指しながら、各イベントと連携して試飲会の開催や飲み方の提案などを行い、霧と高原が育む「世知原茶」の魅力を多くの皆さんに知っていただきたいと思ひます。パンフレットも作成しPR効果を高めていきます。



世知原茶  
西九州地方特有の茶葉の鮮度を生かした「蒸し製玉緑茶」で、全国では生産量が少なく珍しいお茶。冷涼で霧が多く、寒暖の差も大きい世知原地域では、味に深みのある茶葉が育ちます。平成8年には全国茶品評会で産地賞を受賞するなど、新鮮な茶葉の爽やかな香りと、まろやかな口当たりが高く評価されています。

**みかわち焼**

三川内陶磁器工業協同組合  
代表理事 金氏一郎さん



**地元で愛される産地と知名度の向上を目指します**

現在、平戸焼と呼ばれていた時代の高度な技術を現代の生活様式に合わせた商品や、体に安全安心な食器として小・中学校給食用食器の開発に取り組み、地元で愛される産地を目指しています。また大手百貨店と連携した取り組みを強化し、知名度の向上を図っています。



みかわち焼  
平戸藩の御用窯として繁栄し、400年以上の歴史を誇る、本市唯一の国指定伝統的工芸品。幕末から昭和30年ごろまでは海外にも輸出されていました。透き通るほどの薄手の白磁、精巧緻密な透かし彫り、繊細な染め付けに定評があり、かわいらしい子どもたちが描かれた唐子絵の和食器は多くの皆さんに知られています。



3市共同で特産品をPRします

**アンテナショップ構想**

地元産業の振興と地域ブランドの創造による地域活性化を目指して、佐世保、雲仙、長崎の3市が共同で、福岡市内へアンテナショップを出店することを計画しています。

アンテナショップとは、企業や自治体などが自身の商品や地域の魅力を展示紹介したり、新商品を試験販売したりする店舗で、人口規模の大きい都市圏において消費者ニーズを調査し、今後の販売戦略などに生かすために設置するものです。福岡市内の複数の候補地を検討していましたが、このほど福岡市博多区上川端町にある「ふくぎん博多ヒル1階」(広さ約320㎡)に開設することが決まり、来年初ごろのオープンを目指しています。この店舗には、特産品の物販・飲食コーナーや観光情報コーナーを設置するほか、商談会の開催など営業活動の拠点機能も持たせる計画で、今後は詳細について協議していきます。